

第19回

ボランティア団体援助金のご案内

(実施要項)

2026年1月5日

2026年
2月6日(金)
必着



支援の対象も活動拠点
も沖縄県内にある団体

2024年(第17回)、ボランティア団体交流会の様子。
ハイブリッド(会場+オンライン)開催しました

児童福祉に関わる団体や社会的課題に取り組む団体

援助希望の団体を募集します

(詳細は次ページの募集要項をご覧下さい)

ボランティア団体とは

ここでいう「ボランティア団体」はNPOなどの認証の有無を問わず支援活動を行う団体をいう

活動歴が2年程度以上経過した団体

任意団体も対象
NPOなどの認証の有無は問わない

5回まで援助を受けられる

コーフおきなわから援助金をうけると

- 援助金は1団体5万円を寄付金としてお渡しします
- 活動を通して、地域や対象者に還元できるものに活用いただきます
- 援助を受ける団体は「援助団体交流会」への参加を義務とします

2025年4月4日(土)10:00-12:30 沖縄空手会館 研修室(豊見城市字豊見城854-1)

応募について

まずはお問い合わせ下さい。

- 問い合わせ:098-879-1144(月~金 9:30~17:00)
 - 届け先 〒901-2588 浦添市西原1-2-1
コーフおきなわ総合推進室 ボランティア団体援助金係
 - 締め切り日
2026年2月6日(金)午後5時締め切り
(郵送または直接お届け下さい)
 - 援助先は審査委員会で審査し決定します
- ※援助枠を超えて応募がある場合、資金力の少ない団体を優先します**

⑤審査結果は3月に「援助先決定一覧表」を全応募団体へ郵送しお知らせます

⑥応募用紙は本要項または、
コーフおきなわHPよりダウンロードしてください。



⑦所定の「ボランティア団体援助金要望書」を以て申請します

※前回(第18回)の援助団体は最終頁を参照

ボランティア団体援助金の実施要項



1:趣旨

生協は、くらしをより良く豊かなものにしたいと願う人々が自らの意志で加入し、共通する願いを実現するためにつくりあげた「生活の協同組織」です。コープおきなわでは、「ともに創るくらしと未来」をさらに進めるため、年始めに組合員から募る「お年玉募金（ユニセフ募金を併用）」の一部を原資に、県内の児童福祉向上や社会的課題に取り組むボランティア団体を援助します。
※ここでいう「ボランティア団体」とは「NPO」など認証の有無を問わず、支援活動を行う団体を総称しています。

2:対象とする団体の基準

- ①沖縄県内に拠点（事務所）があり、その対象も沖縄県内に向けて活動していること
- ②児童福祉（障がい児、要保護児童、母（父）子家庭、子育て支援）に関わる団体や社会的課題に取り組む団体であること
- ③任意の団体を含めて対象とし、NPOなどの認証の有無は問わない。
- ④その活動を事業としている団体は対象外。
- ⑤会の活動歴が2年程度以上の団体であること
- ⑥同一の団体は、5回まで援助金を受けることができる
- ⑦援助決定団体は、4月に実施する「援助団体交流会」へ参加すること（会場またはZoom参加）
- ⑧援助決定の団体は、2026年1月中に援助金を使用した活動報告書を提出すること
- ⑨コープおきなわの理念「ともに創るくらしと未来」に合致する活動を行う団体であること
 - ・ともに創る「知恵と力を寄せあい、一つひとつの願いを、ともに実現していきます」
 - ・くらし「人と人とのつながりやぬくもりのある、心豊かなくらしを創っていきます」
 - ・未来「人と自然が共生し、子どもたちがすこやかに育まれる、持続可能で平和な社会の実現をめざします」

3:援助金の使途

- ①援助金は「寄付」とする
- ②会の活動を通して、地域や対象者に還元できるものであること
 - ・使途については、「お年玉募金」で寄付して下さった方に伝えていくため、申し込み時の「援助金要望書」へ記入すること

4:援助金の額

- 1団体あたり5万円（20団体を基本とし、募金額により変動することもあります）

5:援助金要望書

ホームページおよび生協の各店舗の“くみかつ掲示板”に掲載する

<http://www.okinawa.coop>

6:応募に必要な書類（提出された資料は返却できません）

- ①所定の「ボランティア団体援助金要望書」をもって申請する
- ②以下を添付資料（必須）として提出する。提出がない書類がある場合は、審査対象外とする。
 - ・会則または規則などで「会の目的」が明記されているもの
 - ・会の活動を紹介する資料 ※写真添付の場合はコメントをそえる（返却できません）
 - ・前年度の事業報告書、収支報告書
 - ・本年度の事業報告書、収支報告書 ※経過月数分

7:選考の方法

- ①審査委員会による書類審査で決定する
- ②審査委員会は以下の委員で構成する
 - ・コープおきなわ理事会より数名（副理事長、常勤理事）
 - ・ボランティア団体を支援する組織の担当者（沖縄県社協より予定）

8:援助決定のお知らせと援助金の贈呈

- ①コープおきなわでの選考を2026年3月上旬に実施する
- ②「援助先決定一覧表」を全応募団体へ郵送しお知らせする
- ③「援助先決定一覧表」はコープおきなわホームページ・機関誌へ掲載する他、市町村社協など協力頂いた団体へ送付する
- ④援助金は、3月末に銀行振り込みとする ※詳細は対象団体へ案内する

9:援助団体は「交流会」へ参加

- ①援助を受ける団体は「援助団体交流会」への参加を義務付ける
 - 開催日：2026年4月4日（土）10時～12時30分
 - 会場：沖縄空手会館（豊見城市字豊見城854-1）
- ②交流会は各会同士の交流とコープおきなわとの協同を築くために実施する（※前年度の援助団体も参加を義務付ける）

10:ボランティア団体援助の申し込み方法と締め切り

- ①締め切り日：2026年2月6日（金）午後5時までに必着（郵送または直接お届け下さい）
- ②受付時間：月曜～金曜の午前9時30分～午後5時
- ③届け先：〒901-2588 浦添市西原1-2-1
コープおきなわ 総合推進室 ボランティア団体援助金 係

11:問い合わせ先

コープおきなわ 総合推進室（担当：玉代勢）

TEL:098-879-1144（月～金の9時30分～午後5時）

2026年 ボランティア団体援助金要望書

生活協同組合コープおきなわ 理事長 殿

下記のとおり、関係書類を添えて要望します

応募日	202 年 月 日	
応募団体名	(ふりがな)	
	(団体の設立年: 年)(会員数: 名)	
代表者名	役職名	
	氏名	(ふりがな)
住所 (書類送付先)	〒	
電話番号	携帯: TEL: FAX:	
メールアドレス		
団体の概況 および 活動目的		
運営サイクル	(会議開催—月・週: 回)(行事取り組み—年・月 回)	
申請を出された理由をお聞かせ下さい。	☆援助金はどのように活用したいとお考えですか?	
今年度 現在までの 活動内容		
今年度 現在までの 収支状況	収入総額(千円)	支出総額(千円)
	主な収入源	主な支出費目
	① : 千円	① : 千円
	② : 千円	② : 千円
③ : 千円	③ : 千円	
次年度の 主な事業計画		

【以下の資料(必須)を添えて提出して下さい】

- ① 会則・規則 ②会の活動を紹介する資料 ③前年度の事業報告書・収支報告書
- ④ 本年度の事業報告書、収支報告書 ※経過月数分

第18回ボランティア団体援助金贈呈先

NO	正式名称	市町村	団体の活動目的・内容
1	しゅまむに伝承研究会	石垣市	消滅の危機にある八重山方言「しゅまむに」を子ども達へ伝えいくことを目的に八重山民話のしゅまむに絵本・紙芝居などを作成し、わらべうたをセットにこども園や保育園などで伝承活動展開
2	おはなしはこ	恩納村	週に1回、恩納小学校での読み聞かせ活動。毎年1月末、助産師 櫻井裕子さんの性教育講演会開催。
3	宜野湾市うちなあぐち会	宜野湾市	会員間の交流を深め、生甲斐や楽しみのある生活を送るとともに、沖縄の文化である うちなーぐちの継承、普及活動に努める。特に、幼稚園・小学校でのうちなーぐち指導・継承に留意。
4	絵本サークル	本部町	子育て中の親に役立つ情報提供、交流、繋がりの場所づくり、地域活性化等をめざし活動。町立図書館でのお話し会、小中高での読み聞かせ、町内マルシェで大型絵本の読み聞かせ等実施
5	安謝児童館母親クラブ	那覇市	児童館を利用する児童の保護者で組織。乳幼児親子向け講座、地域に根差したボランティア活動を開催。
6	発育サークル まいれ	沖縄市	子どもの障がいや登校拒否など、子育てに悩みを抱えた親たちが地域と繋がるきっかけの場。 体軸体操、子育て相談、発育の悩み相談、不登校支援、ワークショップの活動を開催。
7	石垣手話サークル碧の会	石垣市	聴覚障がい者と聴者の交流のなかで両者の社会的向上、発展を図り手話の普及を目的に活動。今年度も「手話で〇〇」をテーマに活動。
8	東風平支え合い委員会	八重瀬町	地域の困窮世帯及び一人暮らしの老人世帯を中心に、見守りを兼ねて週1回の弁当配達(無料)実施。クラフト制作や外遊びなど子どもの居場所づくりも行っている。
9	にしはらこども宅食かなまる便	西原町	毎月1回、ひとり親世帯や困窮世帯などの支援が必要な子どものいる世帯に夕飯用の手作りのお弁当を作つて無償で提供(公的機関がお届け)、その際に情報提供や困りごと等をお聞きし、必要な支援提案などアウトリーチ支援を実施。
10	ワクワクゆんたく食堂	那覇市	地域コミュニティ食堂。食をとおして、人と人のつながりを深め、困った時はお互い様の精神を広げる。月2回の食堂とあわせて弁当配達13世帯、30食を継続。
11	沖縄口唇口蓋裂 親の会 OPALS	宜野湾市	口唇口蓋裂を持つ親の経験や専門医の見識を、これから治療にあたる子の親と共有し、不安を少しでも減らし子育てを支援することを目的に活動
12	医療的ケア児ママの会 cuddle	宜野湾市	入院中のお子様に付き添い自身の食事がまともにとれない親御さんを中心に、県こども医療センター、琉大病院小児科病棟、ファミリーハウスがじゅまるの家へ毎月おにぎりを届ける。医療的ケア児ママの交流と情報交換の場も月2回開催
13	沖縄本島かんもく親の会	糸満市	「場面緘默」の啓発及び会員同士の交流やじょうほう交換のために発足。一般向け講演会や全国の親の会との交流も計画

NO	正式名称	市町村	団体の活動目的・内容
14	石垣聴覚障がい者 友の会	石垣市	石垣市と八重山諸島に住む聴覚障がい者の福祉と生活の向上、社会参加を目的に活動。定例会の他、出前講座、総合防災訓練等実施
15	一般社団法人 UIITEMATE 沖縄	宜野湾市	「水難事故防止教育」を目的としたボランティア団体。県内全域の小中学校で講習会開催
16	越地公民館	今帰仁村	区民の福祉向上と地域活性化を目指して活動。近年は区外や県外からの移住者増加に伴い、地元とのかかわりが希薄になっていることから、交流を深める「世代間交流事業」を計画
17	読み聞かせの会 「ちいぱっぱあ」	糸満市	糸満市米須小学校とこども園での定例の絵本読み聞かせの他、糸満市生涯学習課や町立図書館からの依頼による大型紙芝居も実施
18	ネパール献血者協会、日本	那霸市	県内で4回、県外で10回の献血啓発活動を実施。献血について広く理解を深めてもらえる為の日本語および英語のリーフレットを作成し、配布。
19	金城小学校 PTA エルマーの会	那霸市	26年間、金城小保護者及びOBの方が中心となり、毎月1回児童に読み聞かせを行っている。子どもの想像力や感情の理解を促進し、言語能力や表現力を見につけてもらう。
20	長田・志真志自主防災 ゆいまーる	宜野湾市	宜野湾市長田自治会区域に住む方達に向けて災害対策(防災・減災・自助・共助)について啓蒙、周知を行い、防災講演会、地域ウォーキング大会などの活動を行う。
21	ちゃれんじど楽団	うるま市	県内の福祉まつりを中心に、青空マーケット、パラフェスティバルなど毎月1、2回のステージを行う。
22	めぶき	那霸市	不登校や発達特性のあるお子さんをお持ちの保護者や会の趣旨に賛同していただける方々との情報交換や交流、育児や地域の教育について考えていくこと、リフレッシュの機会とする
23	パトラン西原グループ	西原町	地域を廻りや夜間の不審者や道迷いの高齢者等の見守り、町内のゴミ拾いを行い、環境美化を通して、その必要性の啓蒙活動を行っている。
24	平敷公民館	今帰仁	平敷公民館の運営・平敷区の環境整備・地域行事等の開催。
25	一般社団法人沖縄多胎ネット	豊見城市	孤立しやすく虐待リスクも高いといわれる少数派の多胎家庭への妊娠期から出産、育児等の切れ目のない支援づくりと次世代の多胎支援者の育成、多胎児当事者が生きやすい社会づくりを目的に活動。
26	西崎特別支援学校卒業生 父母の会	豊見城市	支援学校卒業生の父母又は保護者が、卒業生の親睦、交流及び社会性の向上を図ることを目的に、はたちを祝う会及びボウリング大会等のイベントを開催。
27	那霸市第2民生委員・児童 委員協議会	那霸市	地域住民の福祉と生活向上のために相談にのり、関係官庁、開催団体へのパイプ役として活動。
28	一般社団法人動物愛護の会	八重瀬町	保護猫の世話、里親さがし、さくらねこ活動、適正飼育啓発、人も動物も同じ命をもつものとして互いに尊重し合える社旗をめざし活動。

NO	正式名称	市町村	団体の活動目的・内容
29	一般社団法人ゆいまーるの会	那霸市	毎月4回那霸市内の牧志公園で生活困窮者への食品の配布を行っています。公的支援の届かない方々へのセーフティーネットの役割や、高齢者の居場づくりの側面もある。
30	キンリン～地域とこどもを結ぶ～(糸満市青少年育成市民会議指導育成部)	糸満市	公園に集まる非行傾向のこども達と野球や食事を通して地域とこども達のつながりを深めることを目的に活動。
31	おきなわみつごの会	沖縄市	みつご育児当事者がこれからみつごを家庭へ迎えるご家庭へのピアサポートを通して県内で助け合いの輪が広がっていくように活動を継続していく。
32	一般社団法人 沖縄国際命(ぬち)の会	那霸市	当法人は、人生に不安・悩み・苦しみを抱いている方を支援する事を目的とし、無料電話相談・学習塾・講演会・イベント等を実施。
33	TILLA(北中城子どもの 居場所プロジェクト)	北中城村	不登校や、発達障がい、行き渋りや、ひきこもり、いじめ、若年妊娠など、学齢期以降の児童とその家族の心の拠り所作り、困った時に頼ってよい場所などの活動を行う。
34	糸満市 図書館 友の会	糸満市	図書館と協力・協働しながら広く読書啓発をすることである。そのために学校図書館、読み聞かせボランティア、公民館、児童館やブックスタート事業など他機関と連携を図り、読書を豊かにするために活動をしている。